

防衛費の膨張が止まらない。来年度予算の概算要求額は過去最大の8兆円。自民党总裁選ではさらなる増額論も相次いだ。国民生活が厳しさを増す中、どこに財源があるのやら。と思いつきや、あたかもコスト削減の妙案かのように「核武装が安上がり」と吹聴する人、安易に信じる人がいる。本当なの? あえて核武装の費用対効果を専門家と検証した。

「そもそも、核を持てば絶対維持やミサイルなどの近代化に投じている。

米国の568億ドルで、核弾頭の約1兆円だった。最多は

防衛費膨張…でも核武装は安くない



秘密研究で示された前述の金

核武装の是非は過去に何度も検討されている。代表例が佐藤栄作内閣の時代になされた秘密研究である内閣調査室(当時)が永井陽之助氏ら有力な国際政治学者や科学者をひそかに集め、日本の核政策に関する基礎的研究をまとめた。

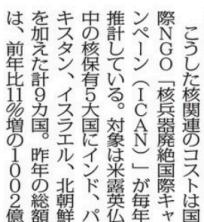
口にしたのは、今をとぎめくへ参政黨の参院議員(当時は候補)で防衛費の財源を論じる話の流れで飛び出した。「日本をなめるな!」と威勢の良い参政は支持率も好調で、こうした主張を疑わない人もいるらしい。だが、まずは歴史に学んでほしい。

でも変わらない。孤立したら経済的損失は計り知れません」と論じるのは、科学史家の山崎正

勝さん(81)だ。
東京工業大、現東京科学大
名誉教授で核の歴史研究の第一
人者である山崎さんによると、
研究の当時は中国が核保有
(64年)を受け、米国側に日本
の核武装への強い警戒感があつ
た。商業用軽水炉の導入を巡る
日米原子力協定の改定や核拡散
防止条約(NPT)署名も控え、
核政策の岐路だったといふ。
それでも、日本は米国の「核
の盾」を採用したわけだ。今
になって核を持てばNPTから
脱退することになり、北朝鮮の
ように国連の経済制裁を科され
ます)。食料もエネルギーも自
給率が低い現状でそなれば、
国民生活が成り立たなくなる。
秘密研究で示された前述の金
額も、技術面は秘密研究の時
にはなっていなかったからだ。
そもそも日本の防衛費が膨張
している背景には、米国への求め
に応じた武器の大量輸入があ
る。米側が価格納期を決めて
いるとされ「言い値で買わされ
ている」との批判が絶えない。
「トランプ関税」を巡る日米協
議でも、税率引き下げの見返り
に日本が武器の追加購入を約束
したと米側は説明している。
「核武装するから、もう国
製の兵器は買いませんんと言
えるなら、山崎さんは皮
肉を込める。輸出業種類のみの経
済構造であるながら、夜郎自大
な発想で、独自路線を突き進む
覚悟が日本には本当にあるのか
という問いかけだ。

額だけを見て、防衛費が10分の1になると考えるのも誤りだ。どの核保有国も通常戦力が不要

費用対効果を専門家と検証



「地図がわざわざ
も対策に巨費がかかります」

ファイルに転用できる口袋技術はあるけど、他はないはず。全体を作るには膨大な投資と時間が必要です。核実験も不可欠だけど、狭い国どこでやるの？ 他国にから地下でやるの

一抑止力だというのなら、核弾頭を運搬するミサイル、爆撃機、原子力潜水艦の他、相手の攻撃を検知して反撃指令するシステムも欠かせない。日本はミ

大核兵器開発研究センターの前センター長、鈴木達治郎さん(74)だ。国の原子力委員会の委員長代理も務め、核の軍事と民衆利用の双方に精通する鈴木さんが問いかける。

「核弾頭は作れたとしても、核武装が安上がりと主張する人は核兵器システムの構築と維持にかかるコストを存じないのでは」と首をひねるのは、長崎市長。

見方も根強い。山崎さんもこの立場で、「現実には一発も作れないのでは」とみる。

ともいわれる。

が、今やアルミニウムを再処理するが、かつては、日本が唯一の非核保有国となつた。昨年末時点では、内外に計44・4ントを保有しておるが、核兵器にすれば数千キログラム相当の

代から様変わりしている。核開発に必要なウラン濃縮技術などは、これまで三回商いなし、一日も

A portrait of a man with glasses and a suit, identified as Taro San.

新政権の発足
えしたい。核武
ありません。

は、前年比11%増の1002億

千葉紀和

(c)毎日新聞社 無断転載、複製を禁止します。